市営住宅敷金制度などを審議する27日の市議会厚生委員会

し尿処理場を増設

―市民会館も実現へ努力―

市議会九月定例会は九月十八日から十七日間の会期で開かれていましたが、四十三年度一般会計補正予算案ほか十三議案、その他請願、陳情が審議され、十月四日に閉会しました。この議会できまったおもなものは次のとおりです。

一般会計補正予算

今回の歳入歳出予算の補正は、九千二百五十九万七千円の追加で、当初予算との総額は十五億九千百九十四万七千円になりました。

歳入のおもなものは、地方交付税が二億八千百七十三万五千円にきまり当初予算に比べ四千八百万円余り増額、その他自動車取得税交付金七百四十万九千円、国庫支出金六百九十八万五千円、市債二千五百三十万などがあげられます。

歳出では、し尿処理場増設工事請負費（第一年度分）三千百五万円を筆頭に、大島橋架替え工事負担金の県へ委託分一千六百万円、都市下水費の四百万円、公園事業費三百四万五千円、学校建設費五百三十一万六千円、道路維持費の砂利購入費二百五万円などとなっています。

なお、少額ですが十五万円の市民、会館建設調査費が計上され、総文委員会でかなりの論議を呼び四十四年、四十五年の二ヵ年にぜひ会館の建設を実現したいとの市の方針が明らかになりました。

◇市営し尿処理場増設工事の請負契約締結

この工事は四十三年、四十四年の二ヵ年継続事業で施工されるもので、十月四日の本会議で請負契約が決定されました。

請負金額は五千九百八十五万円、請負者は東京都守住工業株式会社、処理能力は一日三十五キロリットル、近く起工され四十四年十二月末日までに竣工する予定です。

◇教育委員会委員の選任

巻口政吉　新潟市（再任）

佐藤岩雄　六郷（新任）

◇固定資産評価審査委員会委員の選任

神林八郎　滝谷本町（再任）

今井重雄　本町三丁目（再任）

関谷要四郎　金沢町二丁目（再任）

◇住居表示の実施について

今回提案された地域は金沢町一、二、三丁目に接続する工業高校、五中、新金沢町を全部包含する地域、吉岡団地とよばれる田家一丁目、中沢町に接続する信越線、磐越西線間の未表示地域、北上団地と呼ばれる羽越線から北上の山王神社までの下興野分地区の三ヵ所です。

分流関係の請願陳情留保

条例の制定では、議会の委員会条例、消防署設置条例、職員恩給条例など三件の一部改正。

ほかに市営住宅に敷金制度を設けるための条例改正が提案されましたが、これは時期の適否、均衡上の問題などに疑問もあり撤回されました。

議員発議では、

◇国鉄新津機関区存続に関する意見書

国鉄の近代化に伴って新津機関区を廃止しようという計画に対し、機関区が閉鎖されることは、市の将来のために憂慮にたえないので、ぜひ存続願いたいというもの。

◇人事院勧告完全実施に関する意見書

今年は諸手当を含め八パーセントを引き上げ、実施を五月に遡るべきであると勧告されたが閣議では実施時期を八月に決定している。スト権を禁じられている公務員の特殊性を考慮して勧告の完全実施を願いたいというもの。

以上の二件が原案どおり可決されました。

□請願、陳情

○能代川分流案に関する請願、陳情

分流案反対に関するもの四件、実現要請の陳情七件について今回〈留保〉に決りました。

留保という措置は、採択、不採択の何れにも属さず、事実上審議の打切りであって再び取り上げられません。

能代川問題については別に治水対策特別委員会が設けられていろいろ検討し、その結論として「能代川について今後再び水害が発生しないよう国および県の計画で一日も早く実現することを要請する」とされ「治水計画について市長ならびに議会は、関係地域住民の理解と協力を得るために努力し、能代の下流改修も合わせて早期に実現するよう努力する」との結論が出され議会で議決されていたものです。

○亀田、新津バイパス線建設促進について（商工会議所）

亀田、新津バイパス線は計画されていても、新潟、亀田間が完成しなければ着工できないとのことだが、遅れれば土地の値上りもあり、新津バイパスの完成がなければ画期的な交通緩和にはならないし、日増しに激しさを加える交通の障害は市の発展に重大な影響を及ぼすので、早急に促進運動を展開されたいというもの。

○乳児施設（三才未満児）の増設について（東保育所地区代表）

新町、金沢町、新金沢町、日宝町だけを見ても三才未満児が二百五十六人もいるが、現在のように大半が何らかの形で母親が働いている時代には三才未満児の保育施設がどうしても必要なので、一日も早くこれらの施設を設けて欲しいというもの。

○在日朝鮮人の国民健康保険加入について（市在住朝鮮人公民代表）

市内に居住する朝鮮人公民は国民健康保険加入を認められていないために、医療費に過度な負担を余儀なくされている、このことは基本的人権と生活の保障の上から不合理なので、国保加入を決議願いたいというもの。

そのほか、水道管延長布設について（田家一丁目）、列車からの糞尿飛散行為の禁止について（地区労）請願、陳情が採択されました。

免許証に点数制度

よっぱらい運転は停止処分

道路交通法の一部が改正されて、運転免許証に点数制度が実施適用されることになりました。

減点制とか、持ち点制度ともよばれる免許証の点数制度は、この十月一日に公布され、来年十月一日から施行になりますが、今後、交通事故や反則行為を起こした場合、その事故や反則の軽重に応じて、あらかじめ定められている点数が、免許証所有者の基本点（持ち点）十五点から減点される仕組みで、違反や事故による点数が五点になれば警告が与えられ、六点以上十四点で免許証停止十五点以上は取り消し処分になります。

また、処分前歴のある者は、その前歴回数に応じ停止や取り消しになる点数が順次少なくなり、さらにきびしいものになってゆきます。

違反や事故で減点される点数は別表のとおりですが、例えば、よっぱらい運転（減点数九）や酒気おび運転（減点数七）は文句なしに停止となりそのうえ、ひきにげ（減点数十一）、あてにげ（減点数六）などの悪質事故を重ねれば、その点数も加算されてきびしい処分を受けます。

点数制度は評価期間が三ヵ年となっており、期間内一ヵ年間、無事故無違反のときは過去の前歴が抹消される特例や、施行の際には改正法公布後の処分歴、違反歴だけを評価するなど、運転者に有利な経過規定が設けられていますが、いずれにせよ事故防止のためのきびしい規制ですから、運転者はもちろん、すべての歩行者も交通ルールをよく守り、事故や違反を起こさぬよう心がけなければなりません。

(1)　違反行為の点数

悪質違反	酒酔い運転 酒気帯びの違反	9
悪質違反	酒気帯び反則行為	8
悪質違反	無資格運転 酒気帯び運転	6
反則行為	信号無視等	2
反則行為	右左折，駐車等	1

(2)　交通事故の点数
前(1)の点数に次の点数を加えたもの

死亡	責任	重い	13
		軽い	9
重傷	責任	重い	9
		軽い	6
軽傷 建造物損壊	責任	重い	6
		軽い	4

(3)　交通事故を起こした場合のひき逃げ点(2)の点数に次の点数を加えたもの

ひき逃げ	11
あて逃げ	6

(4)　停止および取り消し

処分基準点／処分前歴	停止	取り消し
前歴なし	6～14	15以上
前歴1回	4～9	10以上
前歴2回以上	2～4	5以上

広報 にいつ

発行所　新津市役所
発行人　新津市総務企画課
電話　大代表　(2) 2111番
印刷所　東洋館印刷所
毎月一回発行

人口動態

（昭和43年9月末日現在）

人口	56,846
世帯数	12,487

（9月中）

出生	76	死亡	29
婚姻	9	離婚	3
転入	182	転出	213

みどりの窓口できる

10月1日から新津駅に

十月一日から、新津駅に「みどりの窓口」ができました。

特急券をはじめ指定席券や寝台券のあるなしが即座にわかり、非常に買いやすく、便利になります。

「みどりの窓口」専用電話は2局3071番です。

店開きしたみどりの窓口

多彩な文化祭ひらく

菊花展をはじめ、物産展、作品展など、各種団体、機関の多彩な文化祭行事が、今年も各会場ではなやかに幕をあけます。

産業、教育、文化の各分野にわたる労作や成果を、一人でも多くの人が観賞されるよう、ご案内します。

◇菊花展覧会
11月1日～15日

◇県下菊花切り花大会
10日～15日、会場はいずれも堀出神社特設花壇

◇物産展
11月2～3日　一小
この物産展は、消費者と各メーカー、取扱い商店との対話の場です。"かしこい消費者"となるための絶好の機会としてご利用ください。

◇サボテン、多肉植物展
11月2～3日　一小

◇写真展
2～3日　一小

◇青年学級生合同作品展
（生花、手芸、絵画、および学級対抗共同制作展）
2～4日　公民館

◇各流派生花展
2～3日　二小

◇切手展覧会
2～3日　青年研修所

◇川柳大会
3日　県信組新津支店

◇民俗芸能発表大会
4日夜7時　公民館

◇盆栽・万年青展示会
7日　記念公会堂

◇市民俳句大会
17日　午後0時半、老人いこいの家
作品募集＝雑詠未発表作品五句限り、（無料）締切りは11月5日、市役所建設課山口啓介宛

◇金津、小合など、公民館の各分館でも綜合文化祭が計画されています。

工業高校が施設公開

新津工業高校が、次の日程で施設や教育内容を公開しますから、多数の方々が見学されるようおすすめします。

◇期日
十一月十六日（土）十七日（日）午前九時から午後三時半まで

◇内容
施設、設備、実習の公開
クラブ活動の公開
生徒作品の展示、地域の芸術家の作品展示
地域の会社製品の展示
映写会
器楽発表など